

2. 学校教育の充実について

(2) 学校での SNS 教育と啓発の必要性について

- ①ペアレンタルコントロールを中心にネット犯罪、ネットいじめ、ゲーム依存などから子どもたちを守る積極的な取り組みを求めて

【答弁】

2. 学校教育の充実についての(2)の①について、お答えいたします。

子どもたちのインターネットや SNS 利用に関しては、その利便性とともネット犯罪やネットいじめ、ゲーム依存といった危険性があることが懸念されているところであります。今般、SNS がきっかけとなり未成年者が犯罪に巻き込まれる事象が増加傾向にあり、先月には、SNS を通して知り合った大人に府内の小学生が監禁されるという事件も生起しております。

このような犯罪に子どもが巻き込まれる背景には、子どもたちがインターネット上に潜む危険について十分理解していないことが一因であると考えられます。子どもたちが、SNS を含むインターネットを介した事件や犯罪から自分の身を守るために必要な力を身につける必要があります。

大阪府教育庁からも、スマホや携帯電話等の取り扱いに関する通知や SNS 被害等の防止に関する資料が市町村教育委員会に送付されており、本市においても、改めて各学校に対して、SNS の危険性について、児童生徒・保護者に向けた積極的な周知と指導を行うよう助言を行ったところであります。

本市教育委員会といたしましても、学校における保護者への啓発、子どもたちへの注意喚起やネットの危険性に関する指導を行うことは、非常に重要であると認識しております。

本市では、これまでから各学校において、携帯電話会社や SNS 運営会社が企画する児童生徒・保護者向けの「スマホ教室」や「携帯安全教室」を開催し、情報モラル、ネットリテラシー、ネットいじめの防止やスマホ等の適正な利用時間についての指導及び注意喚起を行ってまいりました。

また、市内全校園のPTAを対象とした講演会を開催し、保護者と教職員がともに学び、ペアレンタルコントロールや保護者と子どもが一緒になって家庭内のルールを設定することの重要性について考える機会も設けております。

今後は、インターネットやSNSの利用に関する保護者の認識や子どもの利用状況の実態について調査していくことを検討してまいります。

本市教育委員会といたしましては、SNSに関する教育や啓発を進めることの重要性を認識しておりますことから、児童生徒のSNSを含めたインターネット利用状況の把握や保護者の課題意識の把握、ネット犯罪被害・いじめの防止、ネット依存対策の観点も踏まえた各校の取り組みの充実を図るために、今後、より一層の支援に努めてまいります。